

2014年7月14日

常陸大宮市長
三次 真一郎 殿

日本共産党 常陸大宮市議団
金子 卓
堀江鶴治

「田母神俊雄講演会」の後援撤回の申し入れ

8月2日に開催される「田母神俊雄講演会」を、常陸大宮市と常陸大宮市教育委員会が後援していることに、市民から市の姿勢を危惧する声が寄せられています。

講演者である田母神俊雄氏は、航空幕僚長在職中に「我が国が侵略国家だったというのは正に濡衣である」と述べ、戦前の中国侵略を全面否定した論文を執筆していたことが明らかになり、更迭されました。

田母神氏のその論文は、歴史認識として日本の侵略戦争を正当化・賛美するもので、日本の戦後政治の出発点そのものを真っ向から否定し、憲法を否定する重大な内容です。

また同じ論文の中で、集団的自衛権の行使の禁止や攻撃的兵器の保有禁止の原則を批判しています。この点でも現役の自衛官幹部として憲法の尊重擁護の義務に反する重大なことです。

このような人物の講演会を、常陸大宮市が後援することは、決して認めることはできません。強く抗議し、後援を撤回するよう申し入れるものです。

以上